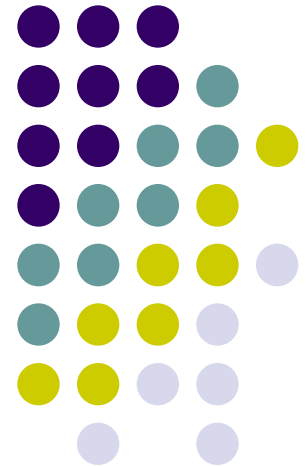


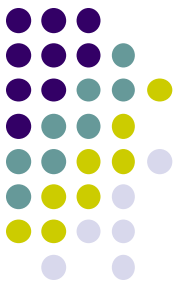
2013年3月11日

支えあいのまちづくりに向けて

労働政策研究・研修機構 研究員 堀田聡子

(hotta@jil.go.jp)





1. 超高齢社会で求められるまちづくり
 - 住み慣れた地域でその人らしく最期まで暮らし続けられる(Aging in Place) 支えあいのまちづくり
2. Aging in Place(地域居住)に向けた方策
 - 地域包括ケアシステムの構築
3. 地域包括ケアシステム構築に向けた諸課題のうち本日とりあげる話題
 - ① 地域マネジメント
 - 地域における最適を地域が自ら選択
 - 地域資源の効率的な活用・配分を可能にするには
 - ② 顔が見える関係と対話に基づく地域の物語に根ざした住民主体のまちづくり
 - 地域住民が地域課題を解決する基盤となる顔が見える関係
 - 多様な主体の連携によるまちづくりの持続可能性を担保するには



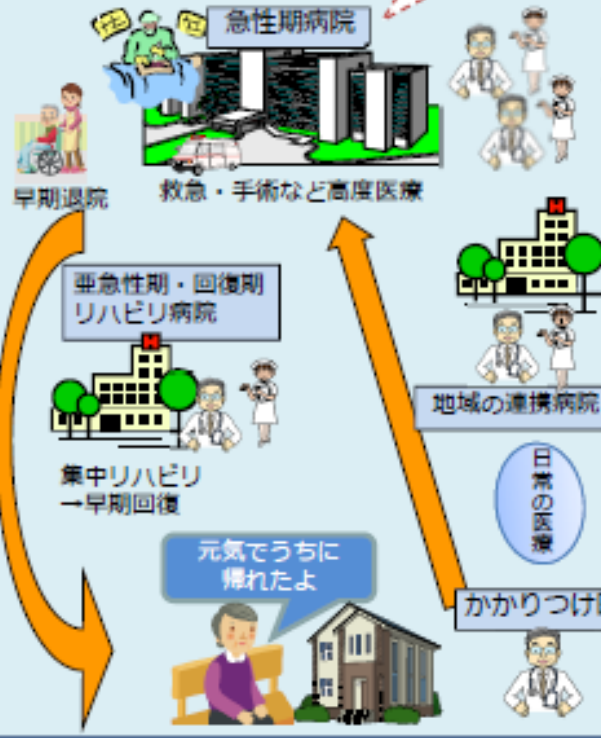
- 高度急性期への医療資源集中投入などの入院医療強化
- 在宅医療の充実、地域包括ケアシステムの構築

どこに住んでいても、その人にとって適切な医療・介護サービスが受けられる社会へ

改革のイメージ

病気になったら

(人員 1.6倍
~2倍)



包括的 マネジメント

- ・在宅医療連携拠点
- ・地域包括支援センター
- ・ケアマネジャー



- ・医療から介護への円滑な移行促進
- ・相談業務やサービスのコーディネート

退院したら

(人口1万人の場合)

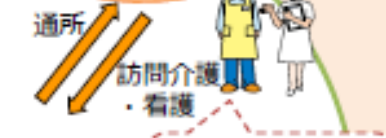
医療



- ・在宅医療等 (1日当たり 17→29人分)
- ・訪問看護 (1日当たり 29→49人分)

介護

- ・グループホーム (16→37人分)
- ・小規模多機能 (0.25か所→2か所)
- ・デイサービス など
- ・介護人材 (207→356~375人)



- ・24時間対応の定期巡回・随時対応サービス (15人分)



自宅・ケア付き高齢者住宅



老人クラブ・自治会・介護予防・生活支援 等

生活支援・介護予防

※地域包括ケアは、人口1万人程度の中学校区を単位として想定

※数字は、現状は2011年、目標は2025年のもの

- ・地域の病院、拠点病院、回復期病院の役割分担が進み、連携が強化。
- ・発症から入院、回復期、退院までスムーズにいくことにより早期の社会復帰が可能に

地域マネジメント

地域医療拠点

地域ケア会議

地域包括
支援センター

介護・
リハビリテーション

医療・看護

保健・予防

福祉・生活支援

CM

ニーズと需要に応じた **すまいとすまい方**

「安心感に支えられた」本人・家族の覚悟

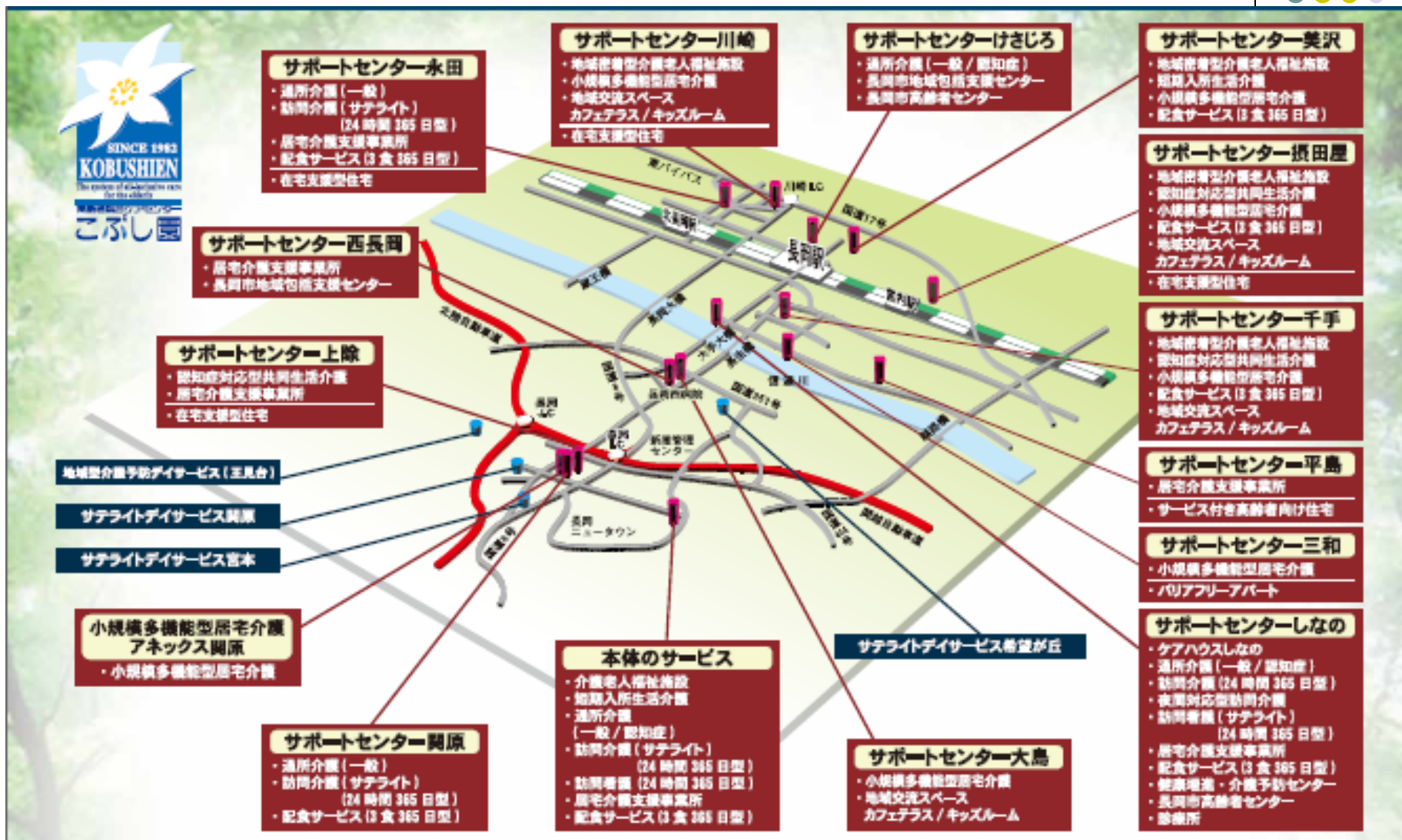
End of
Life Care

ケア付きコミュニティ

例: 社会福祉法人長岡福祉協会こぶし園(新潟県長岡市)



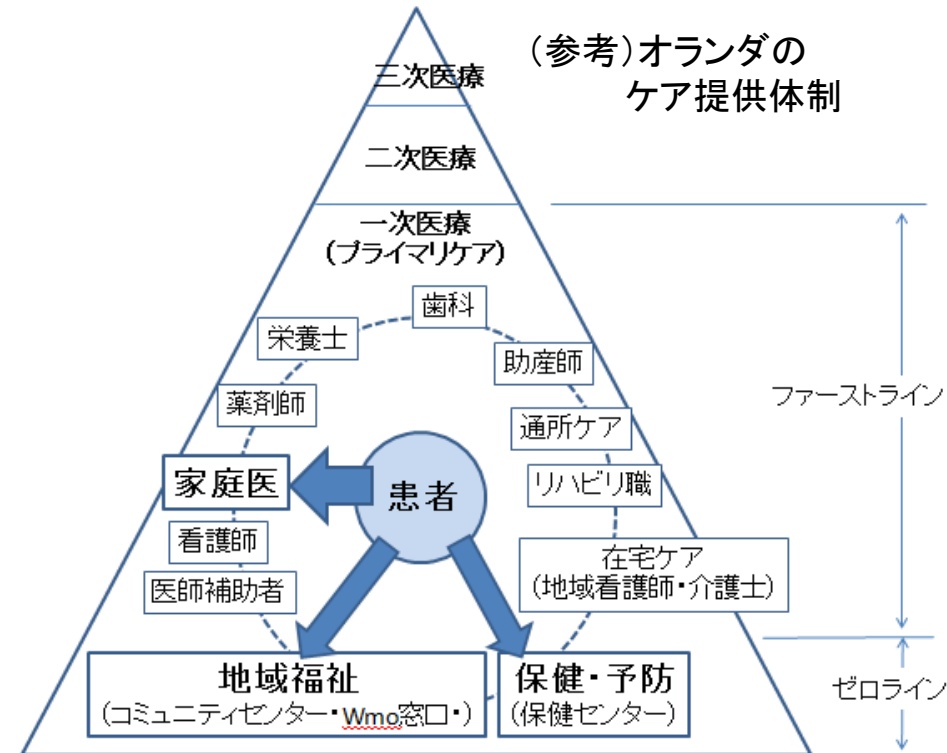
地域全体を支えるシステム(施設機能の地域展開)



例: Zorggroep Almere (オランダ Almere 市)



- 1970年代後半にAmsterdam郊外のニュータウンとして造られた新都市(人口19万人)
- 圏域単位の計画
 - 1. 5万人単位: プライマリケアセンター(家庭医、看護師、ソーシャルワーク、助産師、栄養士、歯科、理学療法)
 - 4万人単位: 在宅ケア、ナーシングホーム、福祉
 - 15-20万人単位: 病院、保健センター、精神保健センター、リハビリセンター
 - 100万人単位: 専門病院
- **住宅・生活支援・予防・介護・医療の統合サービス事業体としてのZorggroep Almere**
- **なぜ成り立つか**



例: 東近江 魅知普請曼荼羅(滋賀県東近江市)



東近江 魅知普請曼荼羅

フード、エネルギー、ケアの自給圏を目指し、多様な主体の参加と連携による持続的発展が可能な共生の仕組み
東近江市は、里山、里地、里湖が一つの水系でつながる、人口、面積ともに、日本の1000分の1モデル

○菓の花エコプロジェクト 藤井・山田・野村
油のリサイクルから発展し、市民の提案により愛東地区で始まり、全国に広がったリサイクルプログラム。東近江ハンドシェイク協議会にも参加し、エネルギー、食べ物の地域循環の仕組みの見える化から、次の一手としてバイオマスまで広がる、FEC自給圏も想定する。

○愛のまちエコ倶楽部 増田・野村・平尾・園田・村山
「地域を元気に」という合言葉のもと、農産関係の体験を通じて都市農村交流を実施。理念の「ぼんまもん」を「田舎もん」という表現で呼びかけ、たぐさんのこだわり体験メニューで、交流の中から地元を元気に「誇り」を取り戻そうと活動している。

○モリスマイル研究会
野々村・村山・大林・西村・山口
乗雪、障がい者、地元、大学生などが連携して、探検の合う市民協働の観光林再生と障がい者を雇用するしくみづくりに取り組む。

○Okkito 里山地域村営システム協議会
田中・大林・藤田・豊東・山口
「びわ湖の森」を元気にするために、地域材の安定供給や木・紙製品の開発などに取り組む。また、人材育成や環境評価など、森林所有者や業者、市民団体、行政等が構成員となって、それぞれの得意分野を活かしつつ、異業種連携を図りながら、「持続可能な森づくり」に向けた事業を展開している。

○選抜サラリーマン地域デビュー 森田・大塚・社
仲間作りを通じた選抜サラリーマンの地域デビューの仕組みをつくり、自らのスキルを生かした役割づくりを追求。この地域で、「緑別カフェ」や雑学事業など多様な地域活性化の取り組みを進めている。

○冒険遊び場 廣田・藤澤・村山
「子どもたちの自由な遊び場」「子どもたちの冒険心や好奇心がいっぱいあふれた遊び場」この遊び場づくりを通して、乳幼児から思春期までの子どもの育ちを、家庭と学校・園だけでなく、地域とともに支援する。

ボランティア

○東近江ハンドシェイク協議会 増田・清水・野村
市内の環境系NPO5団体、東部のまち4団体、財団法人、市で構成。有形無形の地域資源を整理し、それをつなぐ活用することで地域の自立を促し、福祉モールネットにも連携している。

○東近江市体験交流型旅行協議会 清水・川上・中村・谷
「ここは何でもある」という考えのもと、豊かな自然や農林畜産業、生活文化等の生業、人々の生活を伝える体験学習型旅行を企画することにより、都市との交流、地域の魅力を再発見する。

○TEAM えん 小倉・西村・北野・北川・谷
「住民と旅人の縁(えん)をつなぐ、地域にお金(円(えん))が落ちるしくみをつくる。旅を演(えん)出す。えんさんちやうん陣中でお金儲する」をキーワードに、ぼんまもんさんたちとの出会いの中で、真の学習体験ができたツアーのプログラム開発を進めている。

○東近江市民共済発電所 西村・野村・藤田
地域に根ざした「小規模・分散型」の発電システム。自然エネルギー発電設備を市民が共同所有し、また介護施設とも連携設置したりし、収益を出資者に地域商品券で還元。

○東近江市SUNプロジェクト 青田
資工業関係者が主体となり、エネルギーの地産地消による地域経済の活性化を目指す。地域商品券を活用して、牡丹野との連携を目指す。

○遊林会 武藤・丸根
お酒やおいしい家庭料理をいただきながら、木を切って里山を守る。高い山登山保全活動を通して、選抜サラリーマンの地域デビュー、子どもは「モリコ」や親の環境体験教育を進める。障がい者を入れば空き家デザインサービスなんだ!! ！ 里山保全を通して、行政との連携を進めるユニークなNPO。

○加高・おらみサンバパーカッションワークショップ 精神・小橋
「国語が通っておもしろい」と感じる関係をめざし、多様性を尊重した地域づくりに取り組む。古紙回収を通じて、ブラジル人学校を支援している。また、ブラジルの伝統音楽「サンバ」のワークショップを通じて文化交流の促進に取り組む。

○認知症地域ケア 小島・玉置石・藤部・豊登川地区(一部)
認知症の人と家族を地域で支えるため、博物館や図書館の人材リクルート、調理法や雑学、玉置石など認知症行方不明BOSネット訓練、啓発サポーターづくりを実施し、福祉モールネットにもリンクする。

2012/10/1 観音 名前にはハブ・キーパーソン、「」は市職員。
＜掲載ルール＞ 1. 行政にぶら下らない 2. プラス思考 3. 手をつなぐ面白さを知っている

- ヒトミワナリー 厚本:NPO法人スローライフの会で日本語、習字教室などと連携。
- マーガレットステーション 藤岡:地域のお年寄りが高齢化した、地産農産物の販売所。
- 油田牧場 池田:地産地消乳製品。獣医師除菌志向などを活用した農業レストラン、ジュラートアイスクリームを展開。
- 京セラ衛生工場 藤田:グリーンニューデールで電動アシスト自転車と太陽光パネル提案。
- よこせ茶園 横松:地域の農産物生産者、ヒトミワナリーなどと連携。「近江マルシェ」でスーパーとも連携。
- よたべ大風果樹産直組合 込山:合鴨養法で産出された鴨まぶし。そのつながりで、合鴨が仏、伊料理に活用。
- 横倉大工 横倉、木屋木工務店 小橋:地元産薪炭材を活用した家造り、物づくりを進める。
- ラジオオースト 徳平:地域に根ざしたコミュニティFMとして、地域のさまざまな情報をきめ細やかに発信する。
- クレフィール倶楽部 中村:食を通じて地域の人材とつながる。
- 山匠 山本:絶滅寸前のホンモノを体験田で復元。地域資源を通じて、食の文化の復興を目指す。
- 曙れいかファーム 毛利、森:新規就農者の受け入れ、京都出荷、持続可能な農業を目指す野営ソムリエ。
- 新道庭 村山、鍛冶工務 安川、マックスウッド 岡田:地域のバイオマス資源を、環境・福祉と連携し、活用する道を探る。
- チーム川原 福井:渡来人の色濃く残る市子川原の自治体有志による、地産・地消・地産そして地災を目指す。
- オファバカ村 北川:ものごとくが暮らし、活気を地域につくるよう呼びこまれる場所を興発するアーツ＆クラフトの拠点。
- 子長家 atakoro 道雄:駅前の古民家を改修し、地域交流の拠点、子育て支援も視野に入れた取り組みを展開。
- ライオンズ旅行企画 小倉:まちなかジャズフェスティバルを仕掛け、地域資源を活かしたツアーを企画。
- コトナリ 青山:蕎麦油としい地産地消のエネルギーを活用し、地域づくりの起爆剤として活用。
- 八風谷の小さな道の駅「南賞」 中島:高永寺の活性化に向け、地域情報の拠点として活躍。

“つながる 生まれる くらしまること”

まちづくりネットワーク東近江
井上・大西・武下
野村・小橋・藤田・山口・谷
コミュニティビジネスと市民活動
を支える中間支援組織

“生活総合支援戦略”他
東近江市モデル
「免田」「泉本」「山本」
「井口」「外村」「資本」

ひがしおうみ環境円卓会議
内藤・小橋・野村・山口
地域に根ざした環境・環境
共生社会研究開発プログラム

○図書館ネット「真」「武蔵」「新崎」「鈴村」「松野」「江竜」「西澤」「橋本」
図書館の買出しにとどまらず、環境・福祉・健康・医療・農業・文化・まちづくりなど多様な分野それぞれがクロスする仕掛けや地域連携を、図書館ネットで支援し、その中から、病患別の患者関係日記コーナーで医療福祉の動きを支援、グリーンメンタナンスで障がい者雇用を支援、図書館のリサイクルシステムで環境支援を行う。

○しみんふくしの家八日市 小橋
地域市民の助け合いを出発点にして、高齢者、子ども、障がい者それぞれが支え合うしくみを、介護保険などを活用して進め、その収益をもとに地域医療の提案、外国人支援、他のNPO法人支援など、地域の公共を担うNPO法人のあり方を示し続けている。福祉モールネットにもリンクする。

○かじやの里新共済さん 南部
住んでみたいかじやの里を実現のため、福祉モールも発展しながら、地域・施設、レイカディア大学の学生等とのコラボの中で、認知症 SOS 訓練や健康発見促進を進める。

○クリエイトプラザ 花澤・藤田・藤原
障がいのある人が普通に通って生活できる社会を実現するため、福祉モールも発展しながら、地産地消・特産品づくりや近江商人屋敷が立ちあがる岳南地区会堂でうどん喫茶の店「いっぺき」を出す。

○エコラボート事業 城、働き・暮らし応援センター“Takito” 野々村
環境配慮製品を障がい者が配達することで雇用の創出を生み出し、併せて、障がい教育、環境教育につながる、環境と障がいのコラボと CSR をすすめる。併せて、群馬県、古木、介護系、常可、めし屋、染い屋、精米屋、パン屋、うどん屋、鮎魚屋、郵便屋などこれからの障がい者の新たな働き場開発を、異業種連携の中から進める。福祉モールネットにもつながる。

○高荷村=(社)興輪の家、(有)興輪 仲本・高城・藤田
「貿易知家」「自然循環」「地心自立」「後継育成」を村長にして、障がいをもつ人と障がいをもたない人が共に暮らし、自立循環型・少量生産・少量消費社会づくりを目指す。特産品や無添加無農薬の食品開発などの地域農業支援、トラックによる移動販売による買い物支援など地域活性化に取り組む。また、東日本大震災の被災地支援事業やフェアトレードによる気候変動支援、サハラ以南難民支援など、国際的な課題も視野に入れ、幅広い社会的な課題にも取り組む。

○三方よし研究会 角野・小島・中村・花戸・福井
医療関係者だけでなく、介護系や市民も参加し、障がいの見える中で地域連携クリティカルパスの仕組みづくりを推進し、それが医療福祉を考える懇話会につながる。

○地域から医療福祉を考える東近江懇話会 小橋・小島・福井・中村
市民が医療・看護・介護・宗教・図書館・救急などの専門家と連携して、医療福祉在宅寄り体制を推進する活動を展開し、図書館の患者関係日記コーナー、そして高い品質が「はちどりの」を作り、「食農」の新しい生産者、コンビニの改善を目指す。

○福祉モール構想 太田・増田・小橋・川原・野村
医療福祉を考える懇話会から生まれ、地域で高齢者を支えるNPO系の家が呼び掛け、福祉・医療等の関係者が中心に、認知症にも、脳卒中にも、介護保険の改善にもなるべく、障がいがあっても、安心して暮らせるエリア、拠点づくりに取り組む。東近江ハンドシェイク協議会から生まれた(株)あいうるまきと工房が展開する「あいうるま」や、障がい者による給食サービスや移動販売も視野に入れている。

製作: 魅知普請の創寄り(東近江市内のキーパーソンが集う会)



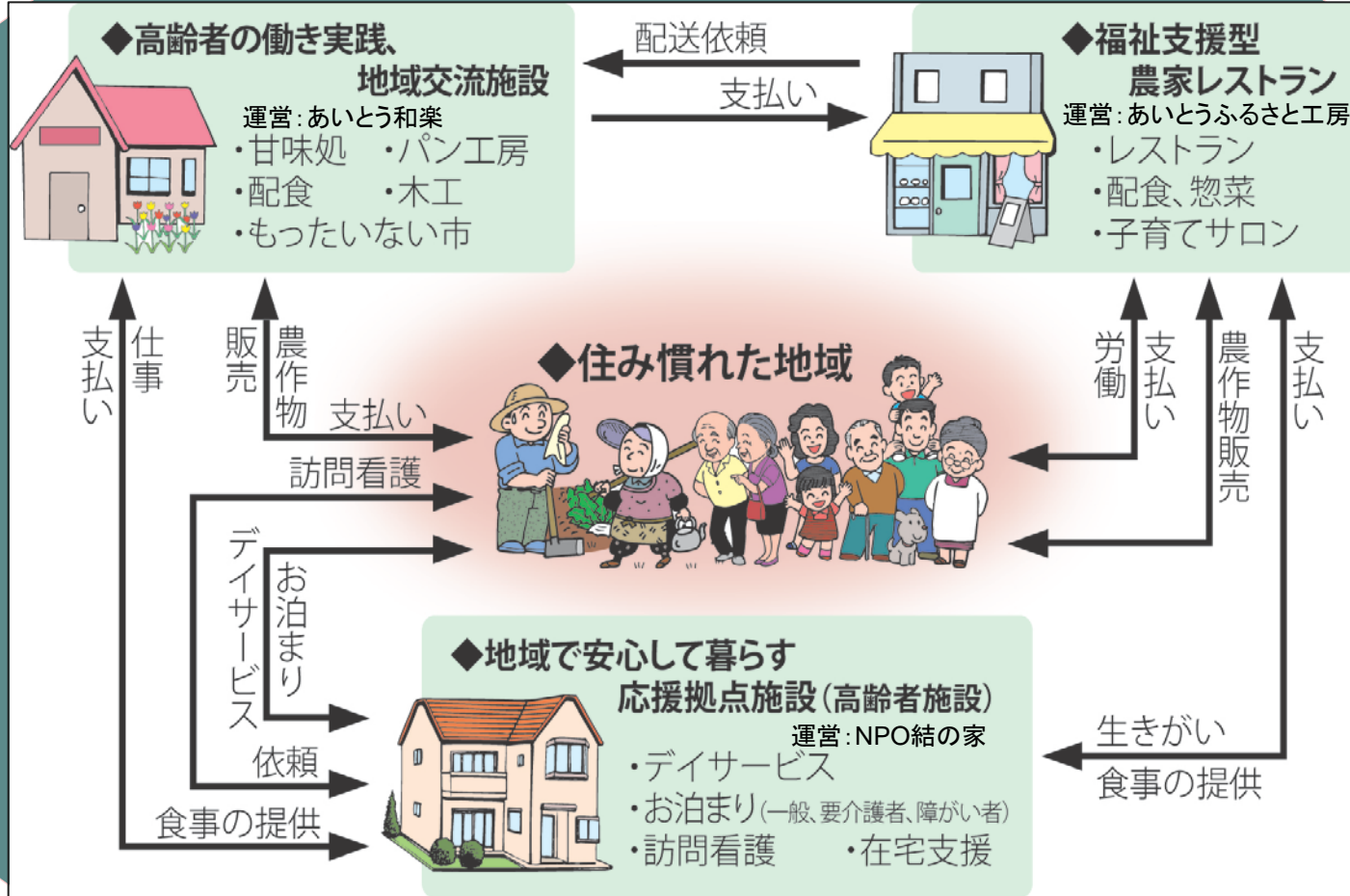
○東近江市フードシステム協議会 橋本・北川・藤井・山口
「生産をきめめない、生き残る農業の仕組みづくり」をめざし、川下から川上への提案と、模索を指す。

○獣畜協働と地産地消 田井中・小島
農業被害を軽減するために構築された鳥獣を地域の資源や管理施設で食料として提供。

あいとうふくしモール構想図

拡大版福祉モール

連携・協力・助言



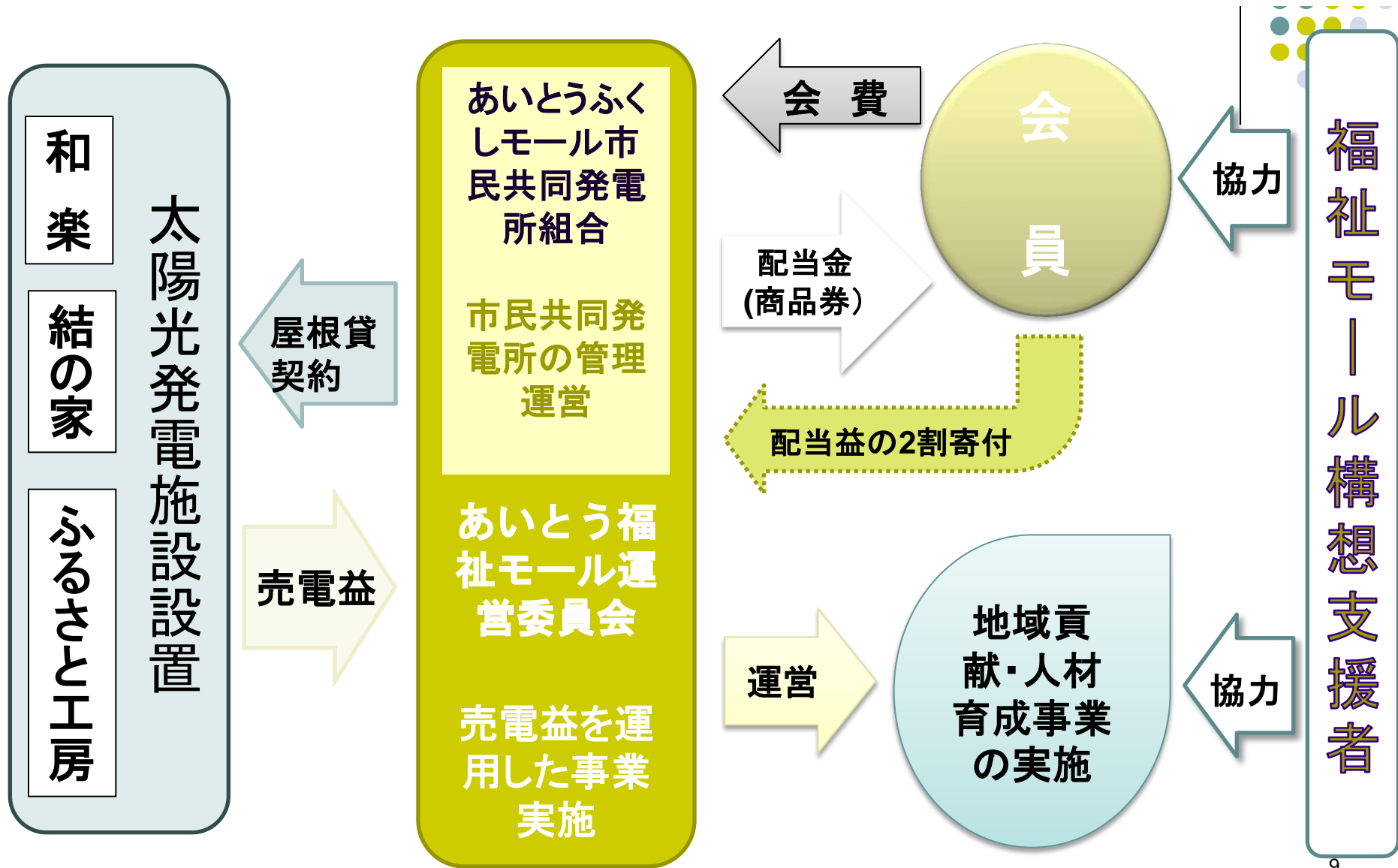
愛東地区まちづくり協議会
自治会・大字福祉委員会

東近江市
マーガレットステーション

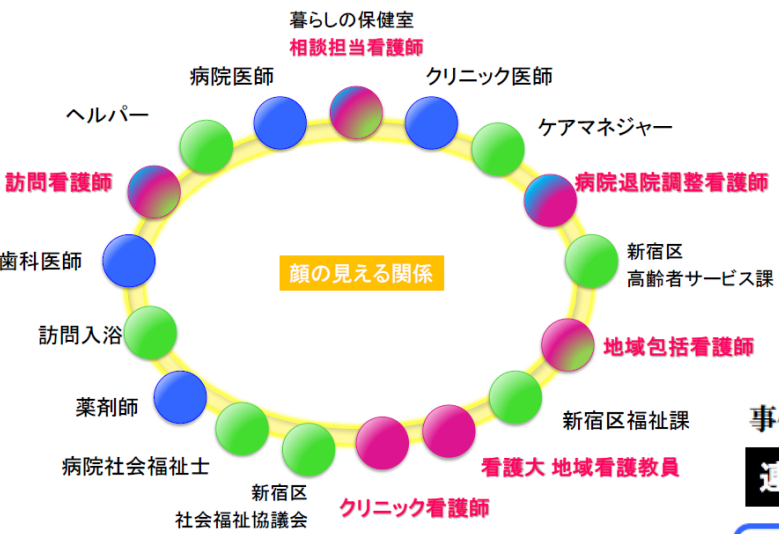
三方よし研究会

地域から医療福祉を考える東近江懇話会

あいとうふくしモール市民共同発電所の仕組み

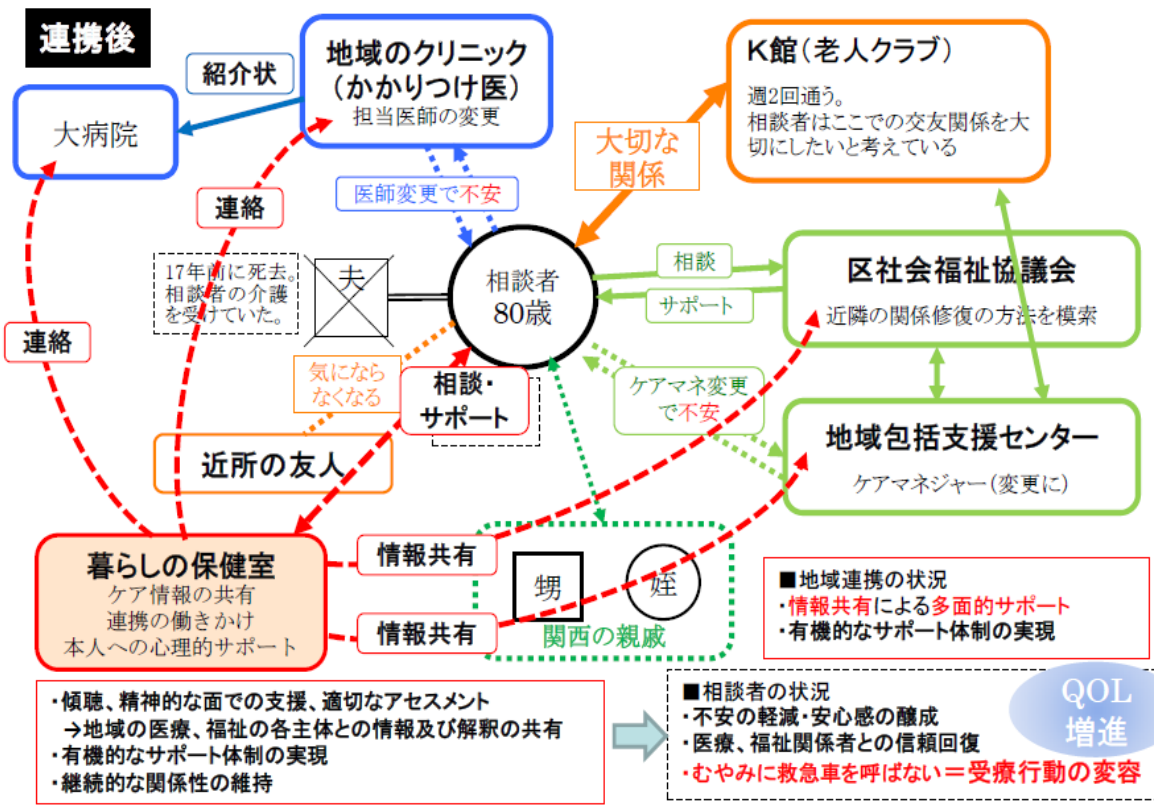


例：暮らしの保健室（東京都新宿区）



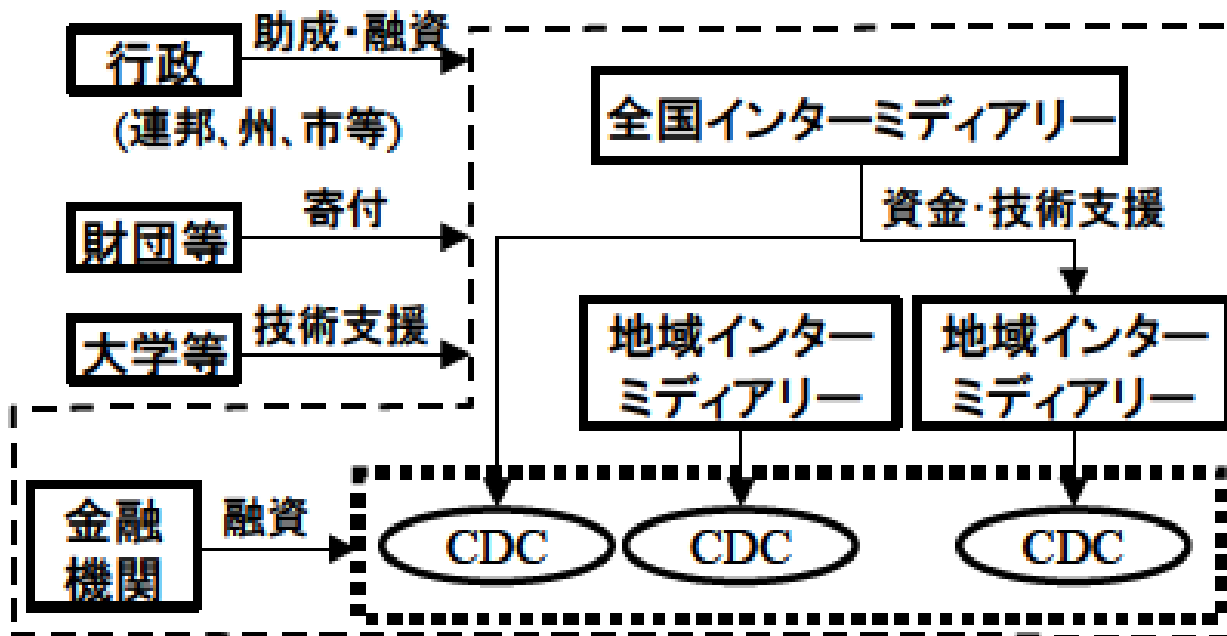
(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション
暮らしの保健室

事例② 介護保険適用の境目にある独居高齢者を地域ネットワークの中で支える



- ・傾聴、精神的な面での支援、適切なアセスメント
- 地域の医療、福祉の各主体との情報及び解釈の共有
- ・有機的なサポート体制の実現
- ・継続的な関係性の維持

例: Community Development Corporation(アメリカ)



出所:平成19年度中心市街地商業等活性化支援業務 地域商業活動等海外実態調査
「米国のまちなかにおける多様な主体の連携によるまちづくりに関する調査」報告書